

12.16 選択  
ぜひ見比べて  
ください

「アメリカいいなり」「財界中心」

国民が主人公つらぬく

# 「自民型」政治か 日本共産党か

## 憲法

日本を「殺し、殺される国」にするのかが問われています。「集団的自衛権の行使」は、海外での武力行使を可能にするものです。

**日本共産党** 海外で戦争する国づくりを許さない

憲法改悪に堂々と立ち向かえる党。戦前、侵略戦争に命がけで反対。この間の改憲策動に対しても「九条の会」など草の根の運動と結んで立ちふさがってきました。共産党の躍進が改憲の野望を打ち砕く最もたしかな力です。

<b>日本共産党</b>	明文・解釈改憲許さず、9条を守る多数派の形成に全力をあげる。憲法の平和・民主的原則を国政に生かす
自民、維新	「集団的自衛権の行使」明記。自民は「国防軍設置」、維新は「自主憲法制定」
民主、未来、みんな	集団的自衛権行使を容認。未来は「安全保障基本法」制定、民主幹部は「9条2項変える」

## 消費税

消費税増税実施の是非は大争点です。国会では強行されても、国民が認めたことは一度もありません。

**日本共産党** 所得を増やし、内需・経済を元気に

- ▶ 消費税増税中止法案を提出
- ▶ 大企業のため込み金を雇用と中小企業に

消費税増税はデフレを加速させ、日本経済の底が抜けます。使い道がなくて眠っている260兆円もの大企業の内部留保を安定雇用や中小企業に還元します。

<b>日本共産党</b>	増税中止。消費税に頼らない別の道を提起。富裕層・大企業への応分の負担と国民の所得増やす経済改革で財政危機打開
民主、自民、公明、維新	10%への増税を民自公で「やり遂げる」。維新は地方税化で「11%」の増税に
未来、みんな	「増税の前にムダを削る」(未来)、「増税の前にやるべきことがある」(みんな)が、いずれは増税

## 原発

「原発なくせ」の願いにこたえる一番たしかな道が問われます。

**日本共産党** 大飯も止めて、そのまますべて廃炉に

- ▶ 建設当初からずっと反対
- ▶ 自然エネルギーの大規模普及と低エネルギー社会への移行

原子力委員会も福島級の大事故の可能性を指摘。原発を稼働すれば「核のごみ」は増え続けます。猛暑の夏も原発なしで電気は足りていました。即時ゼロが最も現実的で責任があり、実現可能な方針です。

<b>日本共産党</b>	「即時ゼロ」。再稼働許さず廃炉プロセスへ。5~10年の間に再生可能・低エネルギー社会へ移行
自民、維新	「再稼働の可否は順次判断」「新增設も否定しない」(自民)、「ゼロは公約でない」(維新)
民主、未来、社民、みんな	「30年代に稼働ゼロ」「再稼働は当然」(民主)、「10年後にゼロ」(未来・社民)、「20年代にゼロ」(みんな)。いずれも再稼働に直結

## 政党が問われています

### 日本共産党 「党名変えず よかったね」

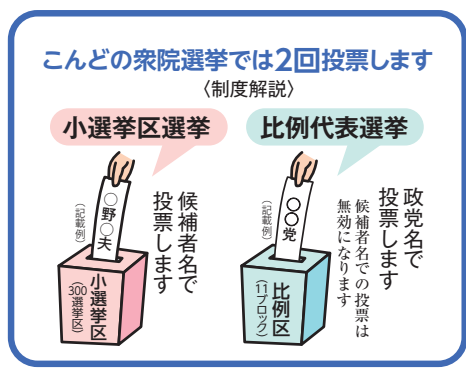
松原隆一郎東大教授(『週刊朝日』座談会)

「共産党の寸評は『党名変えなくてよかったですね』かな。我々はずっと党名を変えなさいと主張してきましたが、新党がポコポコ生まれて党名がコロコロ変わる現状を見ると、変えなくて正解でした。すいません」(『週刊朝日』12月14日号)

「週刊プレイボーイ」  
「元祖・ブレない政党」と紹介

『週刊プレイボーイ』(12月17日号)は日本共産党について「新党乱立の今だからこそ、元祖・ブレない政党を検証」と紹介。「巨大野党にしてみたら何かいいことあるだろうか?」と日本共産党・志位和夫委員長のインタビューを掲載しています。

「ブレる政治」  
怒り57% (「東京」12月6日)  
公約違反にダンマリ、離合集散、前言撤回、同じ党でも人によって言うことが違う…。こんな政治家や政党の発言・態度に国民の怒りが高まっています。



### 公明 維新・自民と手を結び「平和の党」とは?!

公明党は改憲反対のようなことを言いながら、改憲公約の自民党と協力。改憲に一番熱心で核武装

までいう維新とも手を結ぶ。これで「平和の党」とは…。「二枚舌」と言われても仕方ありません。